学校・団体

千葉市少年自然の家プログラム　自然観察

バードウォッチング

場所	所内～所外
時間	1 時間 30 分～
値段	無料
季節	年間（冬期推奨）
人数	何人でも

プログラムの概要・ねらい

少年自然の家周辺には、様々な野鳥が住んでいる。双眼鏡と図鑑を持ってバードウォッチングに出かけ、様々な野鳥を探してみよう。

バードウォッチングの楽しみ方には、ルールはない。ハイキングなどと組み合わせると、一層楽しいプログラムとなる。

※フィールドスコープ、双眼鏡の操作や指導ができる引率者がいる学校・団体のみ利用可能

準備物

【利 用 者】こんな野鳥がいたよシート、筆記用具、水筒、救急用品、季節に合わせた服装、デジタルカメラ、図鑑
（クリップボードがあると便利）

【自然の家】フィールドスコープ、双眼鏡、
※数量については要確認

①準備

事前に「こんな野鳥がいたよシート」を必要数次ページより印刷しておく。
※自然の家で印刷を希望する場合は、料金が発生する。
観察道具（双眼鏡など）をサービスセンターで受け取る。
必ず事前に下見を行い、観察場所の危険箇所、携帯電話の電波状況の確認をする。
※双眼鏡は数量を確認し、足りない場合は持参する。

②実施の流れ

【時間】

0:00　道具の準備

0:05　諸注意・観察方法の説明
- 双眼鏡の使い方、安全面の指導（太陽を見ないなど）
- フィールドマナーの説明(道から外れない、静かに観察するなど)

0:10　シートに天気・調査地点の様子を記録する。

0:15　バードウォッチングスタート
- 双眼鏡や図鑑を活用し、出会った鳥たちを観察する。
- 野鳥だけではなく、他の生物や植物、自然の不思議・疑問なども記録するとよい。

1:00　観察終了
※観察した野鳥をまとめて「こんな野鳥がいたよ」シートに記入し、自然環境学習センターへ掲示することができる。

1:30　片付け

※プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。
※所外に出る場合は、門を開けたら必ず閉める。
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ等に遭遇した場合の注意を徹底する。
（別紙　注意が必要な動植物参照）

参考　季節毎に見られる鳥
春：ウグイス　　夏：ツバメ　　秋：キツツキ　　冬：カモ

③後片付け

使用した器材類は、破損がないか確認し、サービスセンター受付へ返却する。

2025/03/01 改訂

こんな野鳥がいたよ

日にち	月　　日　　曜日	観察時間	時ごろ
学校名	小学校	天気	
学年	年生	ニックネーム：	

観察　Memo：

しらべて名前がわかった鳥	何匹くらいいた？
例）つばめ	5

野鳥観察かん板や自然環境学習センターで見た鳥をしらべよう。

2025/03/01改定

こんな野鳥がいたよ

日にち	月　　日　　曜日	観察時間	時ごろ
学校名	小学校	天気	
学年	年生	ニックネーム：	

観察　Memo：

しらべて名前がわかった鳥	何匹くらいいた？
例）つばめ	5

野鳥観察かん板や自然環境学習センターで見た鳥をしらべよう。

2025/03/01改訂